

# 食農 ぴっくあっぷ

2025年10月号  
No. 199  
東海農政局



ウェブサイト

お知らせ

## 秋のイベントが始まります

東海農政局は10月19日（日曜日）、東海学院大学と共催で「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」の取り組みとして、パネルディスカッション「大学発！日本の食料・農業・農村の魅力発信」を開催します。

東海学院大学の学生が岐阜県内の各地で現地の方と共に取り組んできた活動を紹介し、「食」の未来について、参加者の皆さまと一緒に考えるイベントです。

また、東海農政局は東海3県（岐阜・愛知・三重）で開催される農業関連イベントにも出展します。

### ニッポンフードシフト パネルディスカッション

## 大学発！ 日本の食料・農業・農村の 魅力発信

by 東海学院大学 × 東海農政局

会場：東海学院大学  
東キャンパス図書館 1階大ホール  
（岐阜県各務原市那加桐野町5-68）

### プログラム

**NIPPON FOOD SHIFT（ニッポンフードシフト）**とは、日本の「食」と「農」を消費者、生産者、関連事業者等が一体となって考え、議論し、行動していく国民運動です。大学生のリアルな活動から見える「食」の未来について一緒に考えてみませんか。



### 岐阜県内での学生の活動

- ・六ノ里棚田プロジェクト
- ・栃久保棚田プロジェクト
- ・美濃白川茶プロジェクト
- ・各務原にんじんプロジェクト
- ・飛騨・美濃伝統野菜プロジェクト

2025

10/19(日)

13:20~15:30

会場参加 100名

ウェブ参加 500名

無料

● 申込期限 ●

10/15(水) 12時まで

ご応募は  
こちら



## 東海農政局は各地のイベントに出展します

10月18日(土)・19日(日)

### つなぐ食・農・健康・ 環境フェア in 東海学院大学

時間 (土)10:00~15:30  
(日)10:00~15:30

※19日(日)の体験イベント

場 所 12時で終了  
東海学院大学図書館  
(岐阜県各務原市那加桐野町5-68)

#### 出展内容(予定)

- ・ニッポンフードシフト、食育、郷土料理、食品ロス、GI、農業・農村の多面的機能、ジビエなどパネル展示、パンフレット配布
- ・押し花しおり作り、VR体験、フードライブなど

10月18日(土)

### みえるらべるPR イベント

時間 9:30~12:30

場 所 JAIがふるさと直売所  
「とれたて市 ひぞっこ」  
(三重県伊賀市平野西町1番1)

#### 出展内容(予定)

- ・みえるらべる周知パネル展示、チラシ配布

(東海農政局三重県拠点  
単独でブースを出展します)

10月25日(土)・26日(日)

### 第36回岐阜県 農業フェスティバル

時間 (土)10:00~16:00  
(日)9:00~16:00

場 所 県庁および県庁周辺  
(岐阜市藪田南2-1-1)

#### 出展内容(予定)

- ・みどりの食料システム戦略パネル展示、小冊子、リーフレット配布
- ・ベジメータ(野菜摂取状況をスコアで見える化する端末)による測定体験

(東海農政局岐阜県拠点  
ブースを出展します)

11月1日(土)・2日(日)

### 第52回 岡崎市農林業祭

時間 (土)10:00~16:00  
(日)10:00~15:00

場 所 乙川殿橋下流右岸河川敷  
(愛知県岡崎市康生町)

#### 出展内容(予定)

- ・みどりの食料システム戦略に関連したクイズ、ゲーム
- ・もみすり、とう精(玄米から白米にすること)体験

(東海農政局愛知県拠点  
ブースを出展します)

お問合せ先 企画調整室 TEL 052-223-4610

農林水産省  
東海農政局

# 農村RMO「しきしまの家運営協議会」がゆうパックを活用した新米出荷の出発式を行いました

9月10日、「しきしまの家運営協議会」（愛知県豊田市）は、東海農政局と日本郵便株式会社との連携協定をきっかけに、米の宅配にゆうパックを活用することとし、令和7年産米の初出荷に当たって出発式を行いました。

東海農政局は、本年3月に日本郵便株式会社と中山間地域等の振興に係る連携協定を締結（農林水産省と日本郵便株式会社が締結するものとしては全国初）し、東海3県（岐阜・愛知・三重）の各農村RMOと郵便局とのマッチングに向けた取り組みを進めています。

その取り組みの一環として、「しきしまの家運営協議会」が地元の杉本郵便局との間で、同協議会が運営するプロジェクト「しきしまの家自給家族」における米の宅配に「ゆうパック」を活用する契約を締結しました。

この契約に基づく出荷初日となる9月10日には、地元住民や関係機関等約70人が集まり、出荷の安全を祈願するとともに新米試食会を開催するなど、大いに賑わいました。



安全祈願式



配送車（ラッピングカー）



杉本郵便局への持ち込みの様子

しきしまの家運営協議会と杉本郵便局は、このほかにも地域住民の困りごと相談や団体の活動のPRに連携して取り組むなど検討しており、地域振興へのさらなる相乗効果や貢献が期待されます。

## 農村RMOとは

複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取り組みを行う組織

## しきしまの家自給家族とは

豊田市杉本町敷島自治区の米生産者と、そこで生産される米の供給を契約している消費者で形成するグループを「自給家族」と呼んでおり、令和7年現在「しきしまの家自給家族」の契約者数は330家族で供給量は約30トン（約500俵）です。

お問い合わせ先 農村振興部 農村計画課 TEL 052-223-4629

## みどり戦略関連

# 再生可能エネルギーの活用事例を紹介します

農林水産省は、みどりの食料システム戦略に基づき、太陽光・バイオマス・小水力などの再生可能エネルギーを活用した取り組みを支援しています。

今回はバイオマスを活用したバイオガス発電の事例を紹介します。

活用事例：株式会社ビオクラシックス半田（愛知県半田市）

バイオマスから変換したエネルギーを隣接する農業用ハウスでミニトマト生産に活用



家畜排せつ物・食品廃棄物



メタン発酵



バイオガス発電プラント



電気・熱等



農業用ハウス

## 【バイオマスとは】

動植物に由来する有機性資源で化石資源を除いたものです。

例えば、家畜排せつ物・食品廃棄物・農作物の非食用部、間伐材の林地残材等があります。

植物由来のバイオマスに含まれる炭素分は、成長過程で大気中の二酸化炭素を吸収したものであり、燃焼させても大気中の二酸化炭素は増加しない「カーボンニュートラル」な燃料です。

## 【バイオガス発電とは】

家畜排せつ物・食品廃棄物をメタン発酵（微生物による嫌気性発酵）させることで発生したメタンガスを発電機で電気・熱等のエネルギーに変換します。

変換したエネルギーは近隣の農林漁業関連施設（園芸施設等）で活用できます。

## 【ここが重要！】

バイオマスは私たちの生活の中で持続的に再生可能な資源です。

地域で発生したバイオマスを燃料とした電気・熱等を地域の牛舎・農業用ハウス・食品加工施設等で活用することで、持続可能な地域循環型エネルギーシステムの構築を目指します。

バイオマス発電は、化石燃料を燃料としない、環境にやさしく、二酸化炭素の排出量を抑制し、地球温暖化の防止に役立つものとして、カーボンニュートラルの実現に向けて欠かせない発電方式です。

お問い合わせ先 生産部 環境・技術課 TEL 052-746-1313

# 10月は「食品ロス削減月間」です

令和元年10月1日に「食品ロスの削減の推進に関する法律」が施行され、10月は「食品ロス削減月間」、10月30日は「食品ロス削減の日」と定められました。食品ロス削減月間において、農林水産省は、消費者庁、環境省と連携して、食品ロスの削減に向けた取り組みを集中的に普及・啓発します。



## 食品ロスの状況（令和5年度推計）

日本では、本来食べられるにもかかわらず捨てられてしまう食品、いわゆる「食品ロス」が年間約464万トン（前年度比▲8万トン）発生しています。これは、国民一人当たり毎日約102g（おにぎり1個程度のご飯の量）を廃棄していることになります。

詳細はこちら



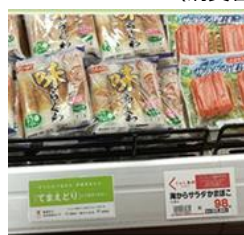
## 食品ロス削減に向けた取り組み



令和7年度啓発ポスター（出典：消費者庁）

農林水産省独自の取り組みとして、食品ロス削減推進のため、小売・外食事業者がダウンロードして商品陳列棚等に掲示できる啓発資材（「てまえどり」ほか）をウェブサイトで提供しています。

（消費者啓発の一例）



スーパーでの啓発

詳細はこちら



東海農政局「消費者の部屋」では、9月30日（火曜日）から10月14日（火曜日）まで「食品ロス削減」をテーマに、食品ロス削減対策の現状や取り組みなどを紹介します。

お問合せ先 経営・事業支援部 食品企業課 TEL 052-746-6430

# 「令和7年度親子花育セミナー」を開催しました

東海農政局は、東海3県（岐阜・愛知・三重）の花き関係団体等と連携し、小中学生、幼児を対象に日常生活における花きの活用の推進、花きに関する知識等の普及を図り、花き文化の振興に資することを目的として2カ所の卸売市場で「親子花育セミナー」を開催しました。

8月23日は愛知名港花き地方卸売市場（名古屋市港区）で模擬セリやパンダのフラワーアレンジメント体験、8月30日は愛知豊明花き地方卸売市場（愛知県豊明市）でお花のクイズや季節の寄せ植えを行いました。参加した子どもたちからは、「セリ体験で値段を当てるのが楽しかった」「寄せ植えがきれいにできた」「また参加したい」とうれしい声をいただきました。

愛知名港花き地方卸売市場  
参加者14組（おとな16名、子ども20名）



パンダのフラワーアレンジメント体験



お花のセリ体験

愛知豊明花き地方卸売市場  
参加者32組（おとな41名、子ども49名）



お花のクイズ



季節の寄せ植え体験

お問合せ先 生産部 園芸特産課 TEL 052-223-4624

# 令和7年度学校給食セミナーを開催しました

東海農政局は、食育の観点から地域の学校給食関係者が理解を深め、地場産物や有機農産物等のさらなる利用の促進が図られるよう、東海3県（岐阜・愛知・三重）で学校給食セミナーを開催しました。

学校給食に関わりのある方が集まり、環境にやさしい農業を行うほ場を見学し、生産者から栽培方法や慣行農業との違いなどの説明を受け、その後、課題解決に向けて参加者と生産者による意見交換を実施しました。

3カ所で約40名の参加者からは、「学校給食に地場産物や有機農産物等を取り入れるためには、生産者とJA、行政の連携が大切と感じた」「有機農作物の価格を下げるやり方があることを知ることができた」などの感想が寄せられました。

## 【愛知県学校給食セミナー】7月30日

講演：「自然栽培の説明と学校給食への農産物の導入について」 つむぎて農園 代表 杉山修一さん

事例紹介：「地場産物・有機農業で生産された農産物の学校給食への導入」 愛知県大府市 寺島晴彦さん

個別相談：オーガニックファーマーズ名古屋 代表 吉野隆子さん



杉山修一さん



ほ場見学



意見交換



吉野隆子さん

## 【三重県学校給食セミナー】8月8日

講演：「循環型農業の推進と学校給食への農産物導入について」 北川農園 園主 北川清生さん

事例紹介：「地場産物の学校給食への導入」 三重県多気町 井田 保さん、前川 悟さん

個別相談：オーガニックファーマーズ名古屋 代表 吉野隆子さん



北川清生さん



ほ場見学



意見交換



北川農園で収穫されたトマト

## 【岐阜県学校給食セミナー】8月25日

講演：「有機農業の説明と学校給食導入に向けての提案」 福井農園 園主 福井博一さん

事例紹介：「行政と連携した学校給食の取り組み」 JAぎふ みどり戦略部有機農業推進室長 大橋伸明さん

個別相談：オーガニックファーマーズ名古屋 代表 吉野隆子さん



福井博一さん



ほ場見学



意見交換

お問合せ先 消費・安全部 消費生活課 TEL 052-223-4651

【編集後記】9月の秋分の日頃までは真夏日や猛暑日もあり、気候変動を実感できる異常な暑さが続いていましたが、ようやく朝晩も涼しくなり季節が秋に向かっていくと実感できます。皆さま、体調は崩されていませんか。食欲の秋ですよ。

<編 集> 東海農政局 企画調整室 TEL 052-223-4610

<ウェブサイト> <https://www.maff.go.jp/tokai/>

 東海農政局



「食・農びっくあっぷ」  
ウェブサイト



メールマガジンの  
登録はこちら